

CONTENTS

☑ カンパニータンクとは

インタビュー

Interview

インタビューアー一覧

Interviewer

業種別一覧

Industry specification list

カンパニータンクご注文

Companytank Order

バックナンバー

Backnumber

Interviewer



秋川 リサ

(アキカワ リサ)

■女優

■15歳でデザイン

専属モデルとしてデ

ビュー以来、女優、

コメンテーターを中

心に幅広く活躍中。主な出演に「お

もいっけりテレビ」「こたえてちょーだ

い」など。また、もう一つのライフ

ワークであるビーズ刺繍の作家として

も活動。



穴井 タ子

(アナイ ユウコ)

■タレント

■1990年から1995

年にかけて篠原涼子

らとともに東京パ

フォーマンスドール

の中心メンバーとして活躍。グルー

プでの活動の他ソロでも活躍し、テ

レビ・ラジオ番組のレギュラー多

数。2000年6月、プロゴルファーの横

田真一氏と結婚。二児をもうける。

その後タレントとして芸能活動を

続け、現在はバラエティ、CM、子育

て番組、エッセイ集出版など幅広い

分野で活躍中。



五十嵐 めぐみ

(イガラシ メグミ)

■女優

■愛知県名古屋市

出身。淑徳学園高

校卒業後、TBSドラ

マ「さかなちゃん」で

デビュー。主な出演作品に「スワン

の涙」「渡る世間は鬼ばかり」「3年

B組金八先生」などがある。



岡安 由美子

(オカヤス ユミコ)

■女優

■東京都出身。フジ

テレビジョンのオール

ナイトフジの司会

で人気を集め、以後

女優、歌手として活躍。主な出演作

品はTBS「男女7人秋物語」NHK

「武蔵坊弁慶」など。一方でレー

サーとしても活動、A級ライセンスを

先代と二人三脚で作り上げる 味わい深い無垢の木の家 地域に愛される老舗工務店

横浜市旭区に拠点を構え、新築や増改築、リフォームなどを手掛ける(有)二宮建築。今年で71年目を迎える老舗工務店だ。代々受け継がれてきた地元密着の姿勢を残しながら、新しい時流に対応すべく日々躍進を続ける同社の三代目社長・二宮啓一郎氏にお話を伺う。

Interviewer



トップページ > 5月インタビュートップ > 有限会社 二宮建築 代表取締役 二宮 啓一郎



二宮 啓一郎(ニノミヤ ケイチロウ)

有限会社 二宮建築 代表取締役/二級建築士

神奈川県出身。1937年創立の二宮建築を営む家に生まれる。高校卒業後、5年間修業を積み、家業に入る。30歳で代表に就任し、2005年(有)二宮建築へ改組。三代続く地元密着型の工務店として、新築・増改築・リフォーム事業を展開し、地域の人々に愛され続けている。

有限会社 二宮建築

〒241-0823 神奈川県横浜市旭区善部町144

TEL 045-361-8872

FAX 045-361-8921

URL <http://www.ninomiya.gr.jp/>

神奈川県知事許可(般-18)第70803号

二級建築士免許 登録番号 第25078号

住宅性能保証制度 業者登録番号 第10033898

住宅断熱施工技術者 登録番号 9607324A

気密ダイライト構法加盟店

お知らせ

味わい深い無垢材を使用

清水: 御社は1937年の創立とお聞きしました。70年以上続く歴史ある工務店なんですね。

二宮: 祖父が創業し、私の代で三代目になります。私は高校卒業と同時にこの業界に入り、紹介を受けた工務店で5年ほど修業した後、23歳の頃に家業に入りました。

清水: 御社では木を使った家づくりが得意とお伺いしています。シックハウス症候群などの問題がありましたから、世間でもまた天然の木を扱った家づくりが見直されているようですね。

二宮: ええ。合板などの人工的なものは必ず壊れますし、また健康にも良くないので、当社ではなるべく加工されていない木を使うようにしていますよ。

清水: 無垢の木を使った自然のままの味わいって素敵ですよね。使うほど味が出てくるので、私は大好きです。私の家にも天然の一枚板を使った大きなダイニングテーブルがあるのですが、使うほどにツヤが出てきてとても味わい深いんですよ。私はマンション住まいですから、天然木を使った家がとても羨ましいです。



二宮: 無垢の木の良さを分かって頂けて嬉しいです。当社では無垢材をふんだんに使用し、できる限りお客様の要望に応え、理想に近い家を作っていくように心掛けています。

▲このページのTOP1に戻る

父と子で未来を築く

清水: 御社では新築の木造建築以外にも、増改築、リフォーム工事などを行っているそうですね。

二宮: はい。最近では、お風呂やキッチンなどの水回り系のリフォームが多いですね。

清水: トイレやお風呂などの水回りは、家の中でも特に清潔に保っておきたいところ。最近では掃除がしやすかったり、快適な設備が充実していると聞きます。キッチンなどもIHなどのオール電化で非常に便利になっていますから、そういったリフォームが多いのでしょうか。

二宮: そうですね。移りゆくお客様のライフスタイルに合わせてリフォームすることで、スペースの有効活用ができますし、仕様・仕上げも自由に選択できるのが工務店の良さだと思いますよ。

清水: 現在、スタッフの方は何名いらっしゃるのですか。

二宮: 先代である父と2人です。3年ほど前まで、父と私の他に若い社員がいて3名で動いていましたが、彼は十分に修業を積んだので独立をさせました。現在は、仕事によって仲間を呼び、臨機応変に対応しています。父は67歳になる今でも現役なんですよ。

持つほどの腕前。



小柳 ルミ子
(コヤナギ ルミコ)
■歌手・女優
■福岡県出身。宝塚音楽学校を首席で卒業後、1971年「私の城下町」でデビュー、日本レコード大賞を受賞。以降、「瀬戸の花嫁」「おひさしぶりね」「今さらジロー」など多数のヒット曲を輩出。また、女優として映画「白蛇抄」やドラマ「鍵」「家なき子」などに出演。他にも舞台、バラエティなど精力的に活動している。



清水 よし子
(シミズ ヨシコ)
■お笑い芸人・テレビタレント
■1986年結成の「ピンクの電話」ではボケ役を担当し、ものまね王座決定戦などで活躍。相方の竹内都子との凸凹コンビぶりでお茶の間の人気を博した。独特のキャラと声を活かして映画やCMにも多数出演し、アニメの声優としても活躍。現在は単独での活動が多い。愛称：清水のヨッチちゃん。



大門 正明
(ダイモン マサアキ)
■俳優
■1949年兵庫県出身。早稲田大学商学部卒業の後、俳優の道へ。主な出演作品に「ウルトラマン80」「ゴジラ対カゴジラ」「大岡越前」「水戸黄門」「キッズ・ウォー4」などがある。



西崎 緑
(ニシザキ ミドリ)
■歌手・女優
■東京都出身。3歳で日舞の初舞台を踏み、7歳で歌手デビュー。14歳の時、必殺シリーズ主題歌「旅愁」がミリオンセラーとなる。舞台・テレビ等に数多く出演する一方で、日舞の振付も手掛ける。主な出演作品に「必殺シリーズ」「はるちゃん4」などがある。



藤崎 奈々子
(フジサキ ナナコ)
■女優・タレント
■目白学園女子短期大学在学中にスカウトされデビュー。ほんわかしたキャラクターが注目を集め、1997年にはフジテレビジュラルクイーン・オブ・ザ・イヤーに選出。一気に全国区アイドルとなった。女優・タレントとして活躍の幅を広げ、歯切れの良いコメントとリアクションで数々のバラエティ番組にも出演する。

辺見 マリ
(ヘンミ マリ)
■歌手・女優

清水：お元気ですね！親子二人三脚でのお仕事はいかがですか？やはりお父様と社長のこだわり、意見などが違う部分もあるのでしょうか。

二宮：そうですね。パブルの崩壊以降、施主様がハウスメーカーを選ぶようになってきました。父の代では、地元の方々の紹介でのご依頼が多かったため、お任せされることが多かったのですが、昨今は施主様が全て決める傾向になってきました。そのような時代の流れに対応し、私たちも考え方や対応の仕方を変えなければいけないということで、父と意見が分かれることも多くなりました。喧嘩になると、大変ですよ(笑)。

清水：でも、言いたいことが言い合える関係は大切ですよ。私も娘とは親子喧嘩をすることがありますが、親子って不思議なもので、ひどい言い合いをしても自然と元に戻りますよね。社長も衝突はあると思いますが、やはり同業に携わる先輩として尊敬する面もありますでしょう。

二宮：ええ。父は自分の損得を考えない、竹を割ったようなさっぱりとした性格なんです。予算がこれだけしかないと言われると、利益が出ない仕事であっても請けるんですよ。ですから、まず仕事が途切れたことがありませんでした。普通だったら早く家を建てて住みたいと思うはずですが、父の性格を知り慕ってくださるお客様は皆、1~2年ほど待ってでも仕事をご依頼頂いていたんです。それが父の代にはずっと続いていました。すごいことだと思いますね。



清水：お父様は根っからの職人肌なんです。家は一生ものですし、信頼のおける職人さんに作ってほしいという人の気持ちがよく分かります。

▲このページのTOPに戻る

一生涯のアフターケア

清水：仕事をする上で、二宮社長が大事にされていることは何でしょうか。

二宮：やはり、お客様との信頼関係を築くことです。一度建てた家のアフターケアは一生涯保障するつもりで、お客様と長くお付き合いさせて頂きたいと思っています。ですから、ガラス1枚の交換でも、ネジ1個締めるだけでも、とにかく何かあれば何でも相談してくださいとお客様に伝え、なるべく頻繁に顔を出すようにしているんですよ。毎年配るカレンダーも、必ず手渡しています。また、家のお手入れ方法など、住まいを長く良い状態に保つための情報を提供し、お客様とのコミュニケーションをとりたいと思い、2007年12月から、毎月チラシを作ってお配りしているんです。チラシは仲間内の業者の方にアドバイスを頂きながら作成しています。ハウスメーカーには負けたくないので、内容にもこだわっていますよ。カレンダーやチラシを配りに行くと、お客様に「お茶でも飲んで行って」と言って頂くこともあり、とても嬉しくてやる気が出ます。祖父の代からお付き合い頂いているお客様もいますし、大切にしていきたいですね。

清水：そうですね。最初は「職人」という響きから寡黙な人を想像していましたが、社長は内から溢れる元気がありますし、お話しも上手です。地元の皆さんに親しまれていらっしゃるのですね。最後に今後の展望をお聞かせください。

二宮：お客様に長く住んで頂くためにも、これからも「本物」の木を使っていきたいですね。やはり日本の風土には昔からの在来工法が最も合います。古くから残る清水寺や五重塔にしても、合板など一切使っていませんが、長い年月を経ても状態を保っているのは、やはり本物の木を使っているからこそ。ですから当社でも本物重視で、無垢の木を使った家を提供していきたいと思っています。自分の作ったものが、末永く形として残るとするのが最高ですからね。



<GUEST COMMENT>

地元の方から「啓ちゃん」という愛称で親しまれている二宮社長。社長の軽快なトークと明るく元気な人柄から、皆に親しまれている理由がよく分かりました。これからも現役で働かれているお父様と共に、意見を交わし合いながら天然木の深い味わいが楽しめる温かな家を作り続けてください。私も心から応援しています！(清水 よし子)

▲このページのTOPに戻る